

和歌山スキー協通信

2014. 3. 8 (13-14 NO. 4)

ソチオリンピックが閉幕し、今日からはパラリンピックが開幕しました。日々の忙しさの中でTV中継も垣間見る程度ですが、それでもトップアスリートたちのパフォーマンスには胸が熱くなります。そのさなか、ウクライナへの軍事介入問題。スポーツの側から発信される平和へのメッセージに期待します。

スキーシーズンはいよいよ最終盤へと向かいます。雪あるかぎり(?)「スキーがしたい」という思いを募らせているみなさん、どんなふうにシーズンを締めくくりますか?

☆ 関西フロック春のレベルアップスキー

4月4日(金)～6日(日)
志賀高原 一の瀬スキー場

指導員研修・レベルアップ・レーシングに加えスノーボード班も設定されています。

※ 締切は3/21(金)となっています。
県でまとめて申し込みますので、別紙要項をご覧くださいの上、参加の方は中岡までご連絡をお願いします。



県スキー協行事 報告

1 Day スキー

1/26(日) 今庄365スキー場
参加者—松木・田邊・石倉・小浴

ビュースターのみなさんと別行動になって2回目、私にとっては20年?ぶりぐらいの今庄365で、雨の中での不安と期待の出発です。

先に進むにつれて雨がひどくなり、滑れるかどうかの不安の中、道まで間違えてしまった!ハプニングにより2時間近く遅れで到着。

仮眠後、曇の降る中ゲレンデへ。何とか、雨から雪にと変わってくれ、予定どおり滑ることができた。

久しぶりのスキーで疲労困憊し、少し早めに切り上げて帰路につきました。帰りは渋滞もなく、夕食までに帰ることができた。

(シュカブラ 小浴康弘)

研修&クラブ合同平日スキー

2月5日、6日で雪上研修に行ってきました。雪上研修の予定だったのですが、研修者が不参加になった為、坪倉・温井・田辺・石倉・辻本でシュカブラスキー行事のように楽しんできました。

前日から降った雪は降り続き、奥神鍋・万場は、ベストコンディション!新雪の気持ちいい

こと！！雪と久しぶりに戯れて来ました。

夕食は、そのために来た人もいるくらいの、但馬牛のすき焼き。美味しくいただきました。さらに帰りの夕食も但馬牛の焼肉。引き返してまで選んだ、茅葺きのお店で、さしのきれいな美味しいお肉をいただきました。

お肉に浮足立っていた為なのか、雪の良さに有頂天だった為か、はたまた、年のせいなのか、一人はブーツを乗せ忘れ、もう一人は違うブーツを持って帰って来るといふ、宿に多大なるご迷惑をおかけしました。いつも、ありがとうございます、来年もこりませずよろしく願います。ということで、報告終わりとします。

(シュカブラ 辻本美保)

冬季オリンピック (ソチ)

(「きのくにSCニュース」より転載)

2月に冬季オリンピックが開かれましたが、マスコミの過熱した報道にも踊らされた感もありますが、深夜から朝方まで日本中がテレビの前で観戦応援する姿がありました。

我々もスキーに携わっている関係でひととき興味を持ちましたが、スノースポーツの広がりには驚かされました。

トリッキーな動きに驚きが！

スノーボードがあるのは知っていましたが、ハーフパイプ・スロープスタイルのスノーボーやスキーでの回転(縦・横)や後ろ向きからの技には仰天して、とてもまねも出来ない種目とも思いました。

アルペン競技でも1年に数度のスキー体験の我々にとって、強靱な身体とスピードにはとても驚かされ、参考にもならないくらいのレベルでの

争いでした。スノーボードの大回転や回転種目の方がまだ理解でき、参考にはなりました。

マイナーな種目が躍進

マイナーな種目でメダルをとったことは、今までの金銭面を含めて多くの苦労があった面でもみんなの関心を引き、今後の良い影響があるのではとも思いましたし、今までの体育系のやり方を乗り越えて、自分で工夫して技術をあげていく点で今後のスポーツのあり方として、よかったのではないのでしょうか。

雪なし県でお隣の奈良県の選手がメダルをとったことは、並大抵のことではできないことが実現した点でも、大いに励まされるとともに、ハンディーを克服する取り組みに、よくやったとの思いも強く持ちました。

競技を通じてメダルをとったかどうかは主に取り上げられますが、大事なことは最大限の力を発揮できたかどうかを試されることではないでしょうか。

雪や氷がある地域は限られ参加国も夏季オリンピックの半分足らずですが、トップレベルに行くためには海外遠征を多くやっていく必要があり、金銭的にも大変で、個人的に負担するのでなく、どこがそれらをサポートしていくのかが今後とも問われていくことでしょう。

スポーツを権利ととらえていく点でも今後より良い環境を作っていくために我々が提言や運動を展開していくことの大切さも突きつけられました。



発行責任 中岡 大

648-0003 橋本市隅田町山内 1017 TEL 0736-36-8452 FAX 0736-36-1358

E-mail dai-n.suberiya@gaia.eonet.ne.jp

携帯 090-7873-3603

和歌山スキー協ホームページ <http://www.jtw.zaq.ne.jp/cfaol505/> (「和歌山スキー協」で検索！)